

2023 年 1 月 31 日

2022 年度聖路加国際大学大学院

看護学研究科修士論文 要旨

**看護補助者未経験者が  
看護補助者として就職し勤務を継続するプロセス**

**Process by Which Inexperienced Nursing Assistants Find Employment  
and Continue Working as Nursing Assistants**

20MN303

緒方美加

## 【目的】

看護補助者としての職歴を持たない者がどのような過程を経て看護補助者となり就業を継続しているかのプロセスを記述する。そして、看護補助者を効果的に採用するための戦略および入職後の定着を図るための手段を講じるための知見を得る。

## 【方法】

本研究は、半構造化インタビューを用いた質的記述的研究である。研究対象者は、機縁法にて依頼した看護管理者による推薦を受け、同意の得られた看護補助者 10 名であった。インタビューはインタビューガイドに沿って行い、看護補助者としての職歴を持たない者が看護補助者として就職した経緯および就業継続に関する情報を得た。インタビューデータから逐語録を作成し、質問項目ごとに内容を KJ 法で分類し、研究対象者の発言を丁寧に比較検討、分離再編を繰り返し、グループの関係性を図式化した。グループ化、グループの命名、図式化のプロセスは複数で行い、研究者の先入観による偏りを防いだ。本研究は聖路加国際大学研究倫理審査委員会の承認を受けて実施した（承認番号 21-A096）。

## 【結果】

看護補助者の職歴を持たない看護補助者は、就職活動開始時は、ハローワーク、病院ホームページを中心に求人情報を収集していた。「就職先を決める際に重視した条件」は、4 件明らかになった。一部の者はそれと並行して、医療事務職などの他職種と看護補助者の職とを比較検討していた。「医療・福祉・介護業界に関心を持つことになったきっかけ」は 5 件明らかになり、そのきっかけを持つ者は、看護補助者あるいは病院での仕事へのさらなる関心につながった。「現在の病院で勤務することに決めた理由」は 6 件が明らかになった。

「就業を支援する要因および課題」は、「部署・患者との人間関係に関する要因」、「自身に関する要因」、「業務内容や待遇に関する要因」の 3 つに大別され、「業務内容や待遇に関する要因」はさらに、「業務実施体制」、「教育体制・キャリア支援」、「適切な雇用・労働条件管理および人事管理」の 3 つに分類された。なお、「適切な雇用・労働条件管理および人事管理」によっても就業継続の阻害要因を除去することが可能であった。さらに「今後の業務を継続することに向けた要望」を支援することで、さらなる就業継続につながる可能性があった。

## 【結論】

看護補助者の募集活動は、ハローワークと自施設ホームページの利用を促進すべきである。また、募集広告によるわかりやすい情報発信と病院見学の組合せで、応募者のすそ野が広がり、雇用のミスマッチの予防効果もある。医療事務職の志望者を採用のターゲットとすることの有効性も示唆された。就職後は、【頼りになるベテラン看護補助者の存在】、および【上司との良好な関係】が、就業継続を支援していた。さらに、人事部門が人事・労務管理に関する正しい情報を発信し理解を得ることで、就業継続を支援できる可能性があった。